

# 第878号

令和3年5月7日

佐渡市立金井小学校  
佐渡ことば・こころの教室

# 教室だより

〒952-1209

佐渡市千種丙178番地1

TEL:0259(63)4156(直)

4115(代)

FAX:0259(63)4117

E-mail:skotoba@sado.ed.jp

HP:<http://kanai-es.sado.ed.jp>

(教室だよりのバックナンバーも掲載中)

## 子どもの成長を願って

佐渡市立両津小学校

校長 本間 英一

15年ほど前、かつて新潟の学校で担任していたAさんの保護者から思いがけずお手紙をいただきました。そこには、Aさんが修学旅行で佐渡に行くこと、Aさんが会いたがっているのので会ってほしいということが書かれていました。

Aさんは当時小学1年生でした。いつも水筒を持ち歩き、不安になると水を飲んでいました。機械いじりが大好きなお子さんでした。手紙には、私が異動してから専門施設に通院するようになり、「ADHD」、「LD」と診断されたこと、施設での指導や学校などの協力があって落ち着き、成長したことなどが書かれてありました。

私は、宿泊先に行き、Aさんと再会しました。そこには当時の面影を残しながらも、立派に成長したAさんの姿がありました。

当時の私にはAさんに寄り添うことしかできませんでしたが、その後の専門的な教育や支援のおかげでAさんは大きく成長することができました。佐渡ことば・こころの教室が今後もAさんのような子どもを支援する場となることを願っています。



## 楽しいと思える教室に

昨年度末、受けもっていた子どもたちと1年間の振り返りをしました。「楽しかったこと」の欄に、「ことばの教室」と書いてくれた子が何人かいました。何が楽しかったのか聞いてみると、「私にもできることがいっぱいあったこと」や「先生とたくさん話げできたこと」、「お楽しみ(活動をしたこと)」と答えてくれました。

ことば・こころの教室では、子どもに応じた課題を用意するため、「できた」という達成感を味わうことができます。また、一対一や少人数での学習が主となるため、自分が主役になり、支援者から自分だけの評価を得られます。さらに、40分間勉強を頑張った後に行うお楽しみ活動は、自信をつけたり、社会性を培ったりするとても意味のある活動です。子どもたちは、みんな笑顔で取り組みます。

今年度、両津小学校に異動し、新たな出会いがありました。子どもたちの笑顔を引き出せる楽しいことば・こころの教室となるよう、精一杯努めてまいります。よろしくお願いいたします。(椿)



## 新担当者より

### よろしくお願いします

今年度より、ことば・こころの教室の担当となりました。平成28年度まで担当しておりましたが、離れて4年。その間、教室開設50周年記念事業や博報賞の受賞、文部科学大臣優秀教職員表彰など、大きな出来事がありました。このような伝統と実績のある教室の指導者の一員となり、身の引き締まる思いがするとともに責任の重さを感じます。

再度勤務させていただくにあたり、中川信子先生（教室開設40周年記念事業・記念講演講師）の著書を読み直しました。子どもへの基本的な考えとして『…ひとりひとりの興味や関心を大切に作る。できたことは認め、できないことに手立てを考える。できたということ・できるようにするという結果だけに、目的をおかない。なにかができるようになろうと努力する過程を共有し、なにかができた達成感を共有しあうこと…これらのことが、自分らしさ、自我の根っこ（自己の有能感）を育てる』とあります。がむしゃらに、技術や知識を得ようとしていた以前の自分。少しゆとりをもち子どもたちと達成感を共有しながら、真摯に努めて参ります。

保護者の皆様、関係機関の皆様、ご指導をどうぞよろしくお願いいたします。  
（金子佐代子）

引用：中川信子『子どものこころとことばの育ち』大月書店（2003）



## 親の会コーナー



### 保護者の声

小学生保護者

普通に学校生活を送っていくのだろうと思っていた矢先、担任の先生からお話があり、いろいろ悩み、考え、相談して、こちらの教室へお世話になる事になりました。

何でウチの子だけと思い、クラスの子と比べてしまったりもして、不安や焦りから息子は息子なりに一生懸命頑張っているのにキツくあたってしまう事もありました。そんな私とは反対に、先生は息子の能力、息子のペースに合わせて楽しくご指導してくださっていました。そこで私も息子と一緒にゆっくり焦らず成長していけばいいと考えを改めました。

1年で驚くほど息子は成長する事ができました。本当に心から感謝しております。

## 高校通級の要望についてのご報告

昨年度、親の会の事業として、佐渡市内の高等学校に「通級指導教室」の設置を求める活動を行いました。

その回答が、県教育庁から佐渡市教育委員会に届きました。現状としては、直ちに佐渡市内の高等学校等に通級による指導を導入することは難しいとのことでした。今後、佐渡市教育委員会から情報提供を受けながら、佐渡市内の高等学校における特別支援教育の指導体制を検討して下さるとのことです。

直ちに高校通級を作ることは難しいと聞き、大変残念ではありますが、声を上げたことで高校通級の設置に向けて一歩前進したと前向きに捉えています。アンケートや署名で、ご協力くださった皆様、ありがとうございました。